

社協通信

皆実学区社会福祉協議会



第20号 平成30年10月26日 発行 皆実学区社会福祉協議会

<http://shakyo-hirosima.jp/minami/> 発行責任者 市川 宏

社会福祉法人 広島市南区社会福祉協議会 検索

第49回 皆実学区体育祭

開催される ・ ・ ・ 皆実学区体協

台風接近の状況の中で、開催が危ぶまれる状況でしたが、平成30年10月7日（日）丁度風雨のない台間の日曜日に絶好の天候に恵まれて、実施されました。

今回の「社協通信」第20号は、その特集として、写真集にしてお届けしたいと思います。写真は、多くの来賓の前を体協の大会旗をもって、入場する様子です。続いて各町の選手の入場で開会式の始まりです



種目は、「朝食一番」「走ってちょっとマット!」などの障害物競技。上の写真の「ムガデリレー」です。

他には、低学年や高学年別の町別対抗リレー、「ギネスに挑戦」。又、子どもだけの玉入れ、大人だけの玉入れの「紅白玉入れ」競技もあり、ほぼ町民全員参加もありました。



午前中の競技は、「台風の目」、「幼児競争」
「グラウンド・ゴルフ選手権」と後一つ
「親子でバーン！！」まででした。



左の写真は「台風の目」。上の写真は、親子のペアで大きく膨らせた風船を親子で椅子まで運び、お尻で割る競技で恐る恐る尻割をする姿が、皆の爆笑を誘うところが、見どころでした。

その後、昼時間になり昼食が終わり、最初のお楽しみは「あんたが一番！」の全員でのジャンケン総当たり。来賓代表と全員との勝負で負けた人は排除されて最後の数人まで（景品のある数）やる競技で始まりました。



続いて「親子三代渡り始め」競技で、孫・父母・祖父母平均台の上を、孫の手を持って渡り花をボードに付けて帰る、という趣向です。最後の出来上がりは、「祝」という文字が出来上がりました。

右の写真は、それから後の「ミニ綱引き」と小学生の「棒とり合戦」大人の「アベック大玉ころころ」の競技です。



その他、写真にはありませんが、小学生高学年による選抜町内対抗のリレーと中学生以上の「一般男女リレー」があり、競技の最後をかざり、今日の最後の盛り上がりを見せてくれました。



こうして、本年度の学区体育祭も怪我もなく無事終了することが出来ました。関係の役員や町内住民

の方々の協力と、好天に恵まれて皆実小学校のご協力の賜物と感謝しなければなりません。

<お知らせ>

◎ 広島市社会福祉協議会会長賞を、曾利 章 氏（六丁目町内会長、学区社協副会長）が、社協関係功労者として受賞されました。おめでとうございます。

10月・11月行事予定

10月24日（木）広島県社会福祉大会

11月10日（土）南区青少年健全育成大会（南区民センター）皆実小学校協力者会議（関係者）

11月17日（土）赤い羽根共同募金街頭募金（広島駅前）

11月21日（水）幹部会（拠点）

11月28日（水）皆実学区社協・民児協合同研修会

11月29日（木）広島市社会福祉大会（広島市社会福祉センター）